

頓阿句題百首

蛭入定僧衣

時しもあれうらなる玉やあらはるる

蛭ぞやどる苔の衣手

影見えぬこころの水のすみ染を

ありとや袖に蛭とぶらん

とぶほたる山を出づべき星なれや

暁ふかき苔のたもとに

飛ぶ蛭なれてぞかよふ袖をだに

はらはぬばかりにしづかなる夜に

かげうつす心の水やしづかなる

袖のほたるの玉やそふらん

「国歌大観」より